

三日月町の蝶

広利雅美

僕は蝶の採集を始めて、1年ぐらいいになりますが三日月町の蝶を主に集めましたので、1976年10月までの採集品と目撃した蝶を中間発表させていただきます。これからも町内で発見されていない種が多いと思いますので採集に励むつもりです。

(アゲハチョウ科……………10種)

アオスジアゲハ、ウスバシロチョウ、モンキアゲハ、クローアゲハ、オナガアゲハ、カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ、アゲハ、キアゲハ、ナガサキアゲハ、

(シロチョウ科……………7種)

ツマキチョウ、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、モンキチョウ、スジボソヤマキチョウ、キチョウ、ツマグロキチョウ、

(マダラチョウ科……………1種)

アサギマダラ

(ジャノメチョウ科……………8種)

ヒメジャノメ、コジャノメ、ヒメウラナミジャノメ、ジャノメチョウ、クロヒカゲ、ヒカゲチョウ、キマダラモドキ、サトキマダラヒカゲ、

(セセリチョウ科……………10種)

ミヤマセセリ、ダイミョウセセリ、アオバセセリ、ヒメキマダラセセリ、コチャバネセセリ、キマダラセセリ、ホソバセセリ、チャバネセセリ、オオチャバネセセリ、イチモンヂセセリ

(シジミチョウ科……………14種)

ムラサキシジミ、ウラゴマダラシジミ、ウラナミアカシジミ、ウラジロミドリシジミ、ヒロオビミドリシジミ(目撃)、ゴイシシジミ(目撃)ツバメシジミ、トラフシジミ、コツバメ、ベニシジミ、ウラナミシジミ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ウラギンシジミ

(タテハチョウ科……………20種)

ウラギンスジヒョウモン、オオウラギンスジヒョウモン、クモガタヒョウモン、ミドリヒョウモン、メスグロヒョウモン、ツマグロヒョウモン、オオウラギンヒョウモン、イチモンヂチョウ、アサマイチモンジ、コムシジ、サカハチチョウ、ルリタテハ、ヒオドシチョウ、キタテハ、ヒメアカタテハ、アカタテハ、スミナガシ、コムラサキ、ゴマダラチョウ、オオムラサキ、

(テングチョウ科……………1種)

テングチョウ 一以上71種です。

(J 23: 佐用郡三日月町)

《食草③》サネカズラ(ピナンカズラ)

家永善文

第2号で分布が発表されたキベリハムシの食草であるこの植物は、全国的に広く分布する常緑のつる性木本植物である。浅い山でも山路の側に他の雑木にからまっただけのびているものや竹林の周辺にもよくみうけられる。初めは直立するが、すぐに隣り同志、あるいは他の木にまきつく性質がある。この性質を「逢う」に結びつけて、古くから歌に詠まれている。万葉集にも数首の歌があり、百人一首にも

「名にしおわば逢坂山のさねかずら……………」

とある。

雌雄異株で夏に淡黄色で1.5cmの花が咲く。光沢のある葉は冬に美しく紅葉する。また、5mmほどの球形の果実は直径1cmほどの球形にふくらんだ花床のまわりについて紅色に美しく熟する。庭に植えて十分觀賞できる植物である。

実の美しい葛という意味でサネカズラという。また茎や葉に粘液があり、昔この粘液で髪をととのえたので美男葛ともよばれる。

(S. 13: 姫路市)

《資料室》

下記の方々から貴重な資料文献を恵与されました。皆さん大いに活用して下さい。

淡路昆虫研究会: PARNASSIUS No.16(1976.11)

奥谷貞一: 淡路昆虫同好会10周年によせて

堀田 久: 先山の昆虫相(1)

誘蛾会: 誘蛾燈No.65 (1976.10)

斎藤 修: 片山千賀志: クロフカバシヤクの棲息確認と飼育記録

佐藤清野、内藤、石塚: 八幡平地域8月上旬の蛾

高橋寿郎: 兵庫県産甲虫類に関する文献目録(1975)

兵庫県のクワガタムシ(1965.2)

兵庫県のコガネムシ(1967.1)

兵庫県のハムシ(1X2X3X4X5X6)

兵庫県の昆虫学研究史概説(1X2X3)

その他別刷16

地域開発コンサルタント: 揖保川水系流域の植生図